



AERO-R2 Mips系 取扱説明書

AERO-R2 Mips INSTRUCTION MANUAL



この取扱説明書は、ご使用になる前に必ずお読みください。

警告 下記の内容は必ずお読みください。

メインデックスへ進む

▲ 「あごひもは必ずしっかり締めてください。」

あごひもを締めなかったり、締め方が緩かったりすると、万一転倒した時などに脱げてしまい、頭を守ることができず非常に危険です。また、ヘルメットの下に、帽子・フード・バイザー・ヘッドフォン等を着用しないでください。ヘルメットがずれたり、落ちるおそれがあります。

▲ 「大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。」

ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れていることが多く、そのまま使用すると再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観に傷がなくても、使用しないでください。

▲ 「ヘルメットの改造および分解は絶対にしないでください。」

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、また、あごひもなどは絶対に改造しないでください。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。

▲ 「ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。」

ガソリン・シンナー・ベンジン・熱湯（50℃以上）や、塩水等は絶対に使用しないでください。

▲ 「ヘルメットのペイントは絶対にしないでください。」

衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され衝撃吸収力が低下する場合がありますので、ペイントは絶対におやめください。

▲ 「ヘルメットは大切に取り扱いってください。」

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万一のために大切に取り扱いってください。また、乗車時に頭を保護する目的以外には使用しないでください。

▲ 「ヘルメットの保管について」

ヘルメットは直射日光の当たる場所への長時間の放置や、車の中および、暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。ヘルメットに使われている材質等が変質して、性能が低下します。

❗ ご注意


❗ 「長期間の日光照射によるシェルの変色について」

ヘルメットのカラーによっては、長期間日光を浴びることにより、シェル表面の色調が変色する場合があります。

❗ 「マット（つや消し）カラーについて」

マットカラーは表面処理の都合上、あらかじめ貼付されているステッカーをはがすと、表面のマット（つや消し）処理がはがれる事がありますので、ステッカーは絶対にはがさないでください。またお客様がご購入後にご自身で貼付したステッカーを再度はがし取る場合も、同様のことが考えられますので、ステッカーを貼付される際は十分にご注意ください。

■ インデックス

 項目クリックでそのページへ移動できます。

 **警告** (必ずお読みください。)

- **ご使用になる前に**
- **部位名称**
- **基本的な使用方法**

1. ヘルメットの正しいかぶり方
2. シールドについて
3. ワンタッチバックルの脱着
4. あごひもの長さ調整
5. アジャストロックの高さ調整
6. KBF-2アジャスターの調整方法
7. KBF-2アジャスターの高さを変える
8. ヘッドレストの幅を変える

- **付属パーツの取付および取替方法**

9. エアパスプレートの脱着方法
10. ノンスリップラバーの取付
11. KBF-2アジャスターの取替方法

- **AERO-R2 Mips 脱着方法**

- **補修用パーツ/オプションパーツについて**

- **当製品の使用素材について**

■ ご使用になる前に

[メインデックスへ戻る](#)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、ヘルメットの正しい取扱方法について説明しております。
ご使用前には必ず最後までこの説明書をお読みいただきますよう、お願いいたします。
ヘルメットは、いかなる事故にも絶対安全という訳ではなく、万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つで、安全の一要素としてご理解のうえご使用ください。安全快適なバイシクルライフを楽しむためにも、以下の注意事項をよくご理解いただきますようお願いいたします。

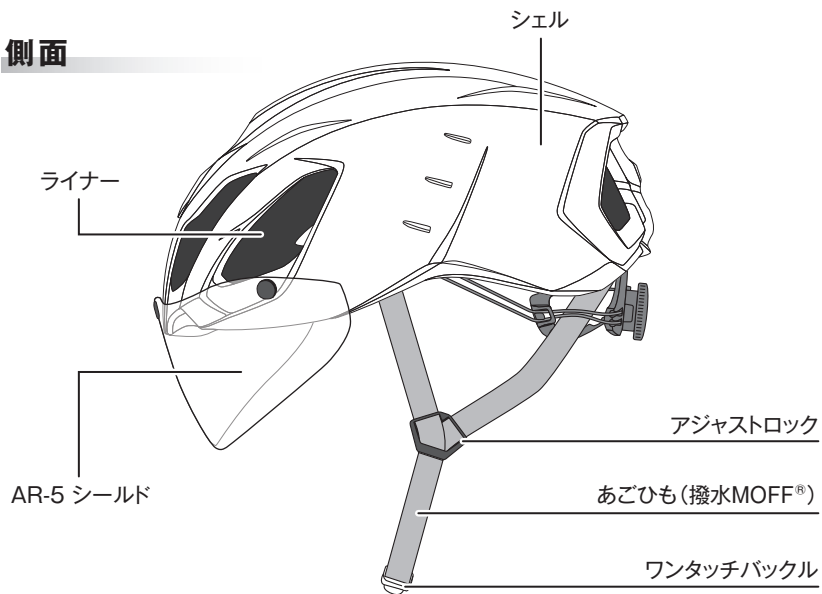


- このヘルメットは「自転車専用」です。オートバイやその他の用途には絶対に使用しないでください。
- 国で定められている交通規則に必ず従ってください。

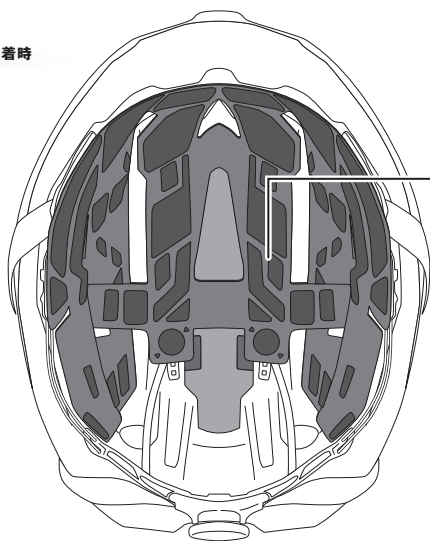
■ 部位名称

[メインデックスへ戻る](#)

側面

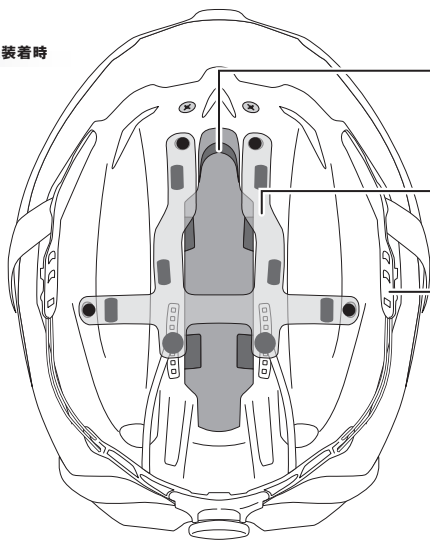


内側 インナーパッド装着時



AERO-R2 Mips
LFLインナーパッド

内側 インナーパッド未装着時

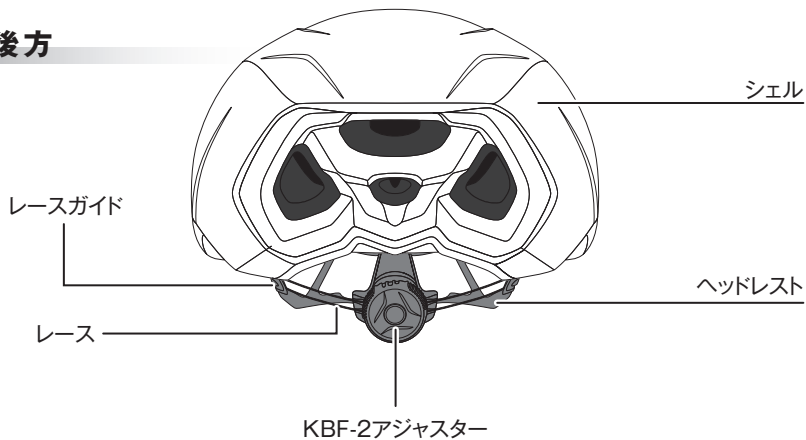


エアバスプレート

AERO-R2 Mips
ブリッジ

テンプルガイド

後方



(付属品)



AERO-R2 Mips
LFLインナーパッド



AERO-R2 Mips
フリッジ



ノンスリップパダー-02



AR-5シールド

[メインデックスへ戻る](#)

1. ヘルメットの正しいかぶり方

ヘルメットを前から後ろにかけて水平になるように着用してください。このときにヘルメットの先端がまゆ毛のすぐ上でない場合は、正しく装着できていません。

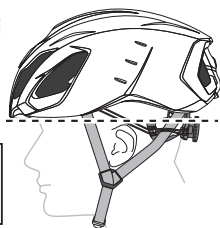
(装着の際は鏡を見ながら調整してください)

また、あごひもの長さやアジャストロックの調整もヘルメットを正しく装着するうえで大変重要な部分です。当説明書の該当項目をよくお読みのうえ、正しく装着してください。

ヘルメットの正しいかぶり方

○ 正しい
かぶり方の例

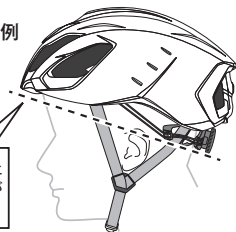
ヘルメットの先が
まゆ毛のすぐ上
にある



前から後ろにかけて水平になるようにかぶります。

× 誤った
かぶり方の例

ヘルメットの先が上
を向き、前頭部が
見えている



❗ ご注意

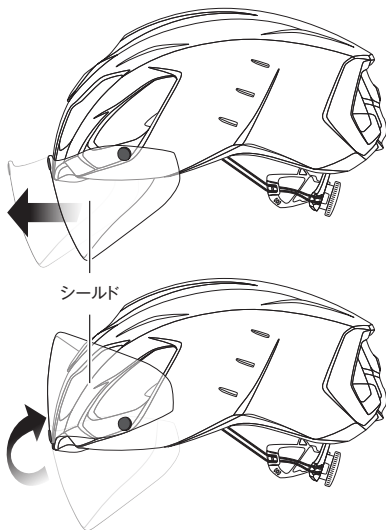
ヘルメットは正しい位置で正しく装着し、あごひもを正確に締める事で、はじめてヘルメット本来の安全性能を発揮します。ヘルメットは走行前にしっかり正しく装着しましょう。

2. シールドについて

[メインデックスへ戻る](#)

このヘルメットはシールドを標準装備しており、一般的な眼鏡の上からお使いいただけるよう設計されております。※眼鏡の形状によっては、ご使用になれない場合があります。

シールドの脱着方法



シールドは磁力で固定されていますので、シールドをしっかり持って引っ張ると取り外せます。

また、シールドは状況に合わせて上下180度回転させて取り付けることも可能です。

同梱パーツ



AR-5 シールド

オプション



ARS-3 シールド



AR-3 シールド

※当モデルはAR-5シールド、(オプション)ARS-3シールド、AR-3シールドの取り付けが可能です。

❗ ご注意

シールドは磁力で取り付けられています。シールドに強い力がかかると、シールドが脱落しますので、十分ご注意ください。

シールド装着時に強風を受けた場合は風でシールドが外れる場合がありますので、十分ご注意くださいようお願いいたします。

⚠ 警告

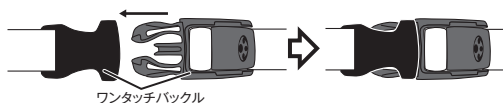
- 取り付け後は正しく取り付けられているか必ず確認してください。取り付けが不完全ですと、走行中にシールドが脱落するおそれがあり、大変危険です。
- シールドは消耗品です。傷の付いたシールドは視界を妨げる原因となり大変危険ですので速やかに新しいシールドに交換してください。

3. ワンタッチバックルの脱着

ワンタッチバックルは、あなたの頭にしっかりヘルメットを固定するための重要な装置です。あごひもの両先端に付いている「ワンタッチバックル」を確実にとめましょう。

ワンタッチバックルの脱着方法

ワンタッチバックルの留め方



ワンタッチバックル

警告

ワンタッチバックルをとめるときは、お肌を挟まないようご注意ください。顔などケガをするおそれがあります。

ワンタッチバックルの外し方: リリースボタンを押すと、ワンタッチバックルが外れます。



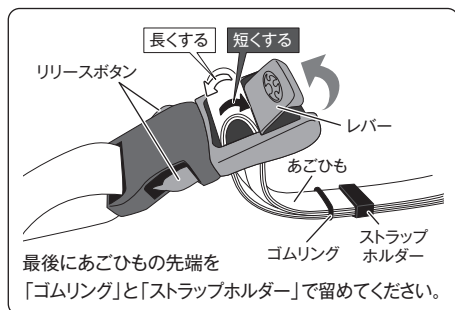
警告

- あごひものは正しくしっかり締めてください。締めないままの走行は、万一転倒した際に変危険ですので、絶対におやめください。
- ワンタッチバックルは、必ず最後まで(カチッと音がするまで)きっちり押し込んでください。押し込みが不完全ですと、万一転倒した際にワンタッチバックルが外れてしまい、大変危険です。

4. あごひもの長さ調整

あごひもは万一転倒などアクシデントの際に、ヘルメットが容易に脱落しないようにする重要なパーツです。ヘルメット本来の性能を発揮させるためにも、適切に調整してください。

あごひもの長さ調整方法



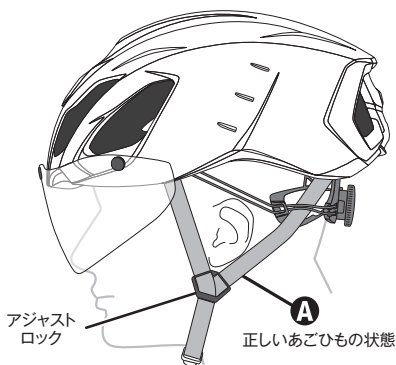
当製品には、YKK株式会社と共同開発された、「アンチスリップバックル」を搭載し、従来のバックルに比べてあごひもが緩みにくくなっています。

レバーを持ち上げながら、あごひもを左図のように引っ張ると長さ調整ができます。

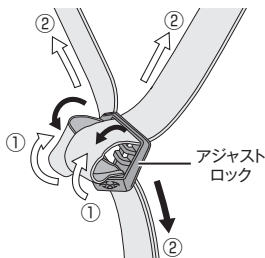
5. アジャストロックの高さ調整

👉 インデックスへ戻る

アジャストロックの高さ調整方法



ワンタッチバックルをとめ、しっかり顔の側面に合うように「アジャストロック」の高さを調整します。ヘルメットを装着し、あごひものAの部分がすっきり納まっているか確認し、耳の部分が緩いまたは、キツイ場合「アジャストロック」を移動させて高さを調整します。



●アジャストロックの移動方法

①を緩ませてから、②を引っ張るとアジャストロックを移動できます。

下へ移動 ←
上へ移動 ←

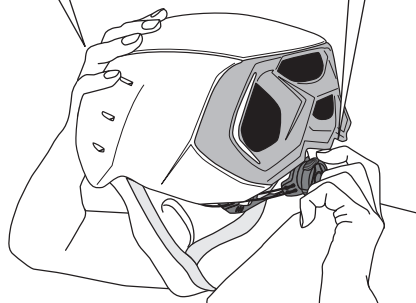
警告 アジャストロック移動後、たるませたあごひもをしっかり引っ張ってたるみを完全に取除いてください。あごひもがたるんだままの状態で行くと、あごひもが正しい長さで固定されず、ヘルメットが脱落するおそれがあります。

6. KBF-2アジャスターの調整方法

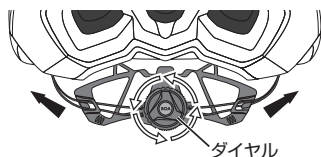
[メインデックスへ戻る](#)

KBF-2アジャスターの調整方法

前を押さえながらダイヤルを回す



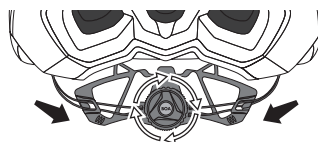
アジャスターを適度に緩めてからかぶり、ヘルメットの前部分を押さえながらダイヤルを適度に締めてください。



緩めるとき

ダイヤルを左へ回す

レースが広がる



締めるとき

ダイヤルを右へ回す

レースが締まる

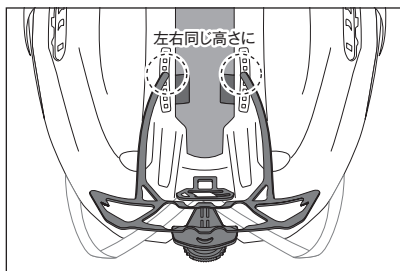
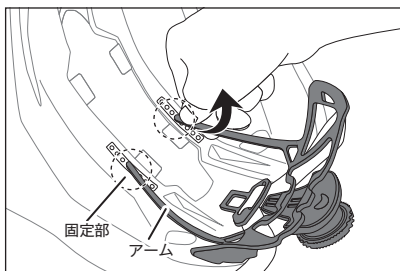
❗ ご注意 アジャスターを調整する際は、ダイヤルなどに毛髪が絡まないよう十分にご注意ください。

7. KBF-2アジャスターの高さを変える

[メインデックスへ戻る](#)

KBF-2アジャスターの高さを変える（上下8段階）

当製品はアジャスターの高さを8段階に調整できます。お好みの高さに合わせて、よりきめ細やかなフィット感を得られます。



- ① アジャスターの固定部付近をしっかりと持ち、アームの先端を引き抜きます。
- ② 左右のアームをそれぞれ同じ高さに揃え、穴に押し込みます。

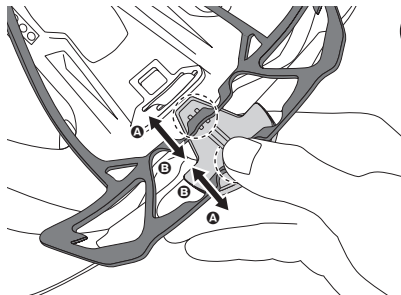
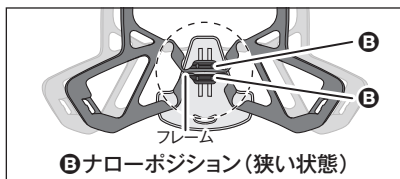
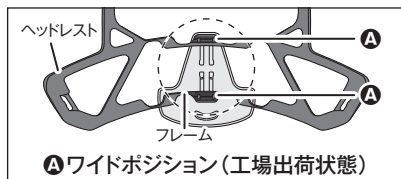
❗ ご注意 アームの先端を引き抜く際は、先端の根元付近をしっかりと持って、ゆっくり外してください。ねじったり、無理な力をかけて外したりすると、破損するおそれがあります。

8. ヘッドレストの幅を変える

[メインデックスへ戻る](#)

ヘッドレストの幅を変える (左右2段階)

当製品はヘッドレストの幅を2段階に調整できます。個人差の大きい後頭部形状へ心地よくフィットし、違和感のないかぶり心地を実現します。(特許出願中)



調整方法 親指で上下のフレームを移動させる

ヘッドレストの幅を変えるときは、それぞれのフレーム位置が上図、**A**もしくは**B**の同じ位置に揃っているように設定してください。

9. エアバスプレートの脱着方法

- ❶ 脱着時の
ご注意
- エアバスプレートを取り外す際は、ゆっくり引っ張って取り外してください。ねじったり無理に引っ張ったりすると面ファスナーが剥がれるなど破損の原因となります。
 - エアバスプレートを脱着する際は、トップパッドを必ず外してください。

エアバスプレートの取外方法

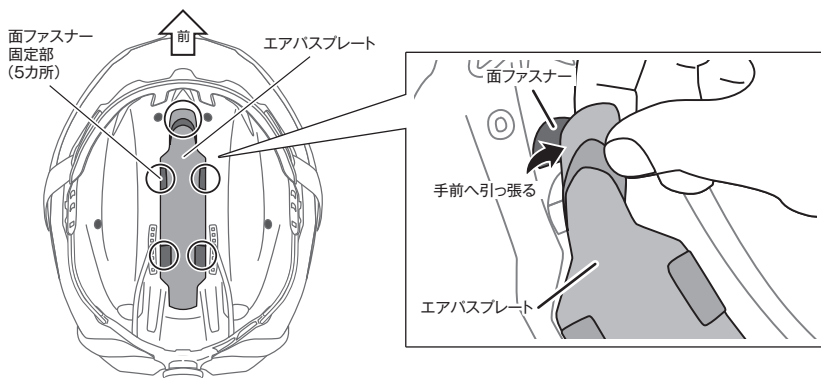
まずAERO-R2 Mips LFLインナーパッドとAERO-R2 Mips ブリッジを取り外します。
該当パーツの取り外し方法はP26をご確認ください。

AERO-R2 Mips 脱着方法

Mips

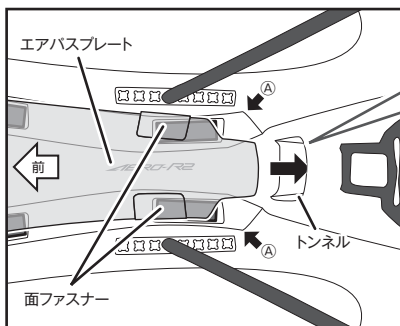
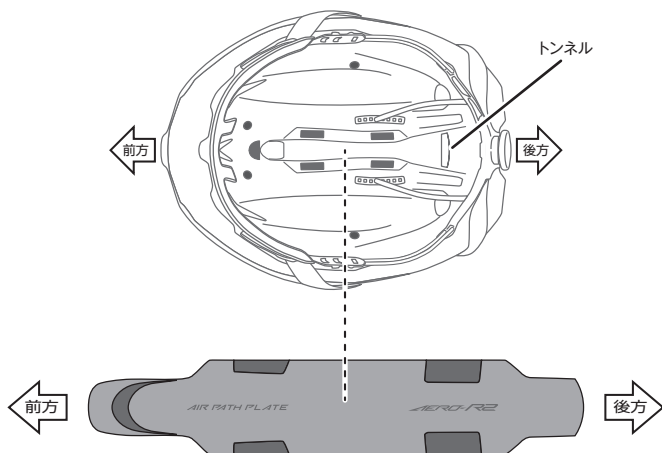
インナーパッド類を取り外した後、エアバスプレートを固定している面ファスナーを先端から順にゆっくり引っ張ると取り外せます。

※ 固定部は5カ所あります。



エアパスプレートの取付方法

エアパスプレート後方部分をトンネルへゆっくり差し込み、エアパスプレートと①の角を合わせ、前方に向けて面ファスナーを貼り付けてください。



位置注意

必ずエアパスプレートをトンネル内に差し込んで装着してください。

[メインデックスへ戻る](#)

10. ノンスリップラバーの取付

[メインデックスへ戻る](#)

当製品は、予めアイウェアを保持しやすいエアホール形状を採用していますが、さらにしっかり保持できる「ノンスリップラバー」を同梱しています。お好みでノンスリップラバーを貼り付けてください。

❗ ノンスリップラバー取り付け前に必ずお読みください。

- 特殊な形状のアイウェアについては、取り付けできない場合があります。
- ノンスリップラバーは、粘着シートで貼り付けますが、一度ヘルメット本体へ貼ってしまえば、剥がしたときにライナー（衝撃吸収ライナー）表面が荒れるおそれや、マットカラーの場合は塗膜が剥がれるおそれがあります。ノンスリップラバーを貼り付けする前に、マスキングテープや粘着の弱いテープで一度仮止めを行い、アイウェアとの位置関係を確認してから本貼り付けを行ってください。
- 本貼り付けの際は、貼り付け部分をきれいな布でから拭きし、汚れを拭き取ってから貼り付けを行ってください。

同梱パーツ

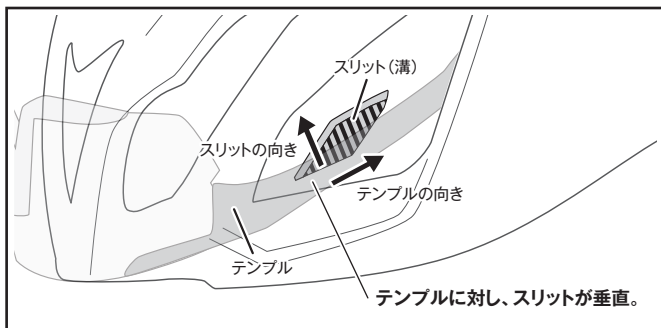


スリット
(溝)

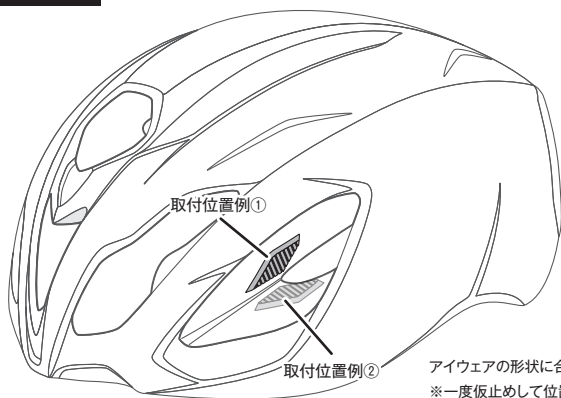
ノンスリップラバー-02
(4mm厚×2個)

ノンスリップラバーの取付方法

スリットの向きがアイウェアのテンブルに対して垂直になるように貼り付けてください。
アイウェアにより適切な取付位置は変動しますので、適切な位置にてスリットとテンブルの向きが垂直になるように取り付けてください。



取付位置例



アイウェアの形状に合わせた位置へ取り付けてください。

※一度仮止めて位置を確認してください。

※取付位置②の場合は、①と左右逆のラバーを使用してください。

❗ ご注意

ノンスリップラバーを貼り付けしても、強い衝撃を受けた場合は、アイウェアが脱落するおそれがありますのでご注意ください。

11. KBF-2アジャスターの取替方法

補修パーツへの取替作業以外では、脱着作業を行わないでください。

① 脱着時のご注意

- レースはデリケートな材質ですので、取り外す際は折りぐせがつかないように、優しく取り外してください。折りぐせがつかますとアジャスター作動不良の原因となります。
- アジャスターを取り外す際は、必ずアジャスターの固定部付近を持って外してください。ねじるなど無理に外すと破損の原因となりますのでご注意ください。

KBF-2アジャスターの取外方法

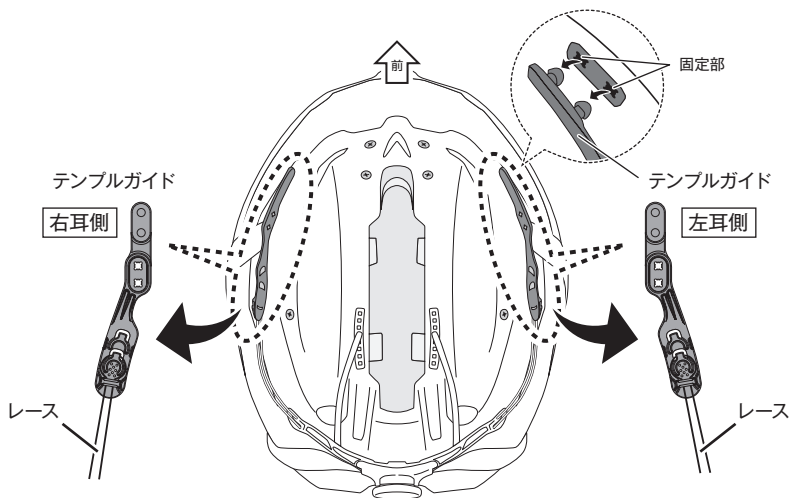
- ①まずAERO-R2 Mips LFLインナーパッドとAERO-R2 Mips ブリッジを取り外します。該当パーツの取り外し方法はP26をご確認ください。

AERO-R2 Mips 脱着方法

Mips

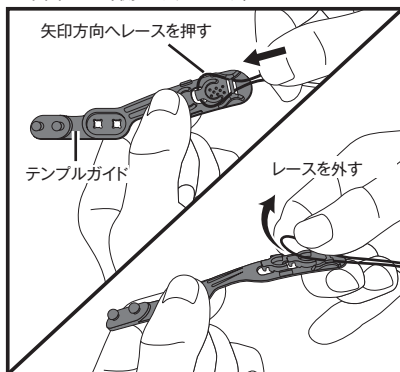
- ②テンブルガイドをヘルメットから外します。

※レースがねじれないように気をつけてください。



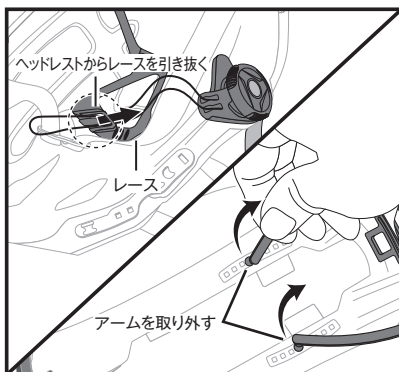
③テンブルガイドよりレースを取り外します。

※下図は左耳側のイラストです。

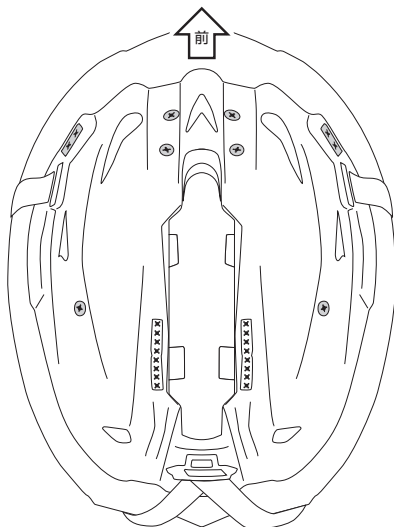


④ヘッドレストからもレースを引き抜き、逆側も同様に

進め、最後にアームをヘルメットから取り外します。



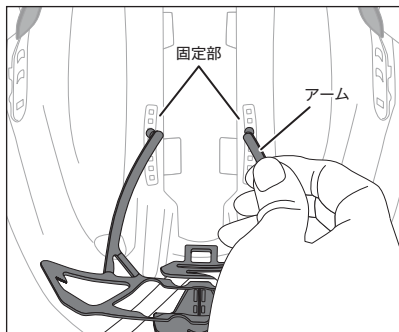
KBF-2アジャスターを取り外した状態



① 脱着時の ご注意

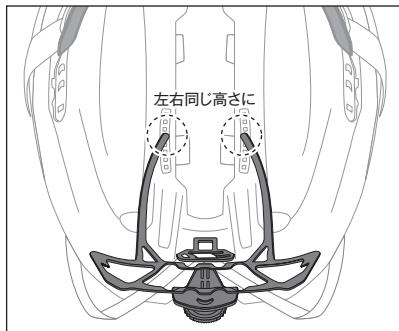
- アジャスターを固定部へ取り付けの際は、固定部の位置をよく確認してください。誤った位置に押し付けると、ライナーの損傷、アジャスター脱落の原因となります場合があります。
- アジャスターを取り付ける際、レースがねじれたまま取り付けると正常に動作しないおそれやアジャスターが破損する場合がありますので、正しく取り付けてください。

KBF-2アジャスターの取付方法



- ①アームをヘルメット側の固定部へ取り付けます。

KBF-2アジャスターの高さを8段階に調整できます。お好みの高さに合わせることで、よりきめ細やかなフィット感を得られます。

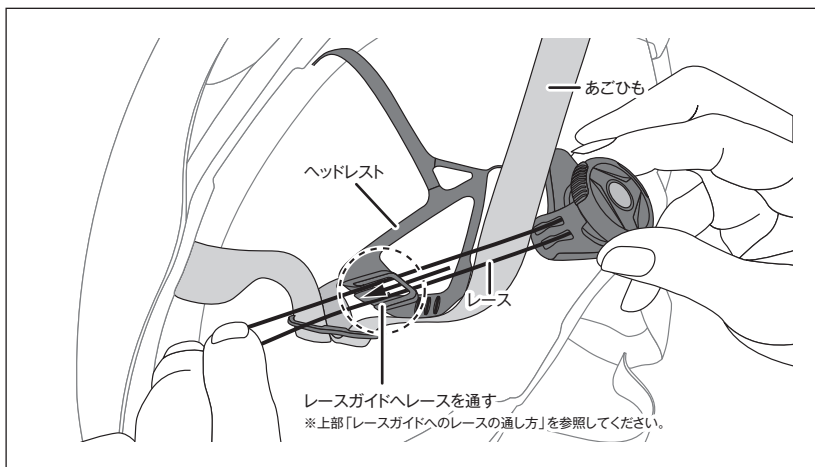
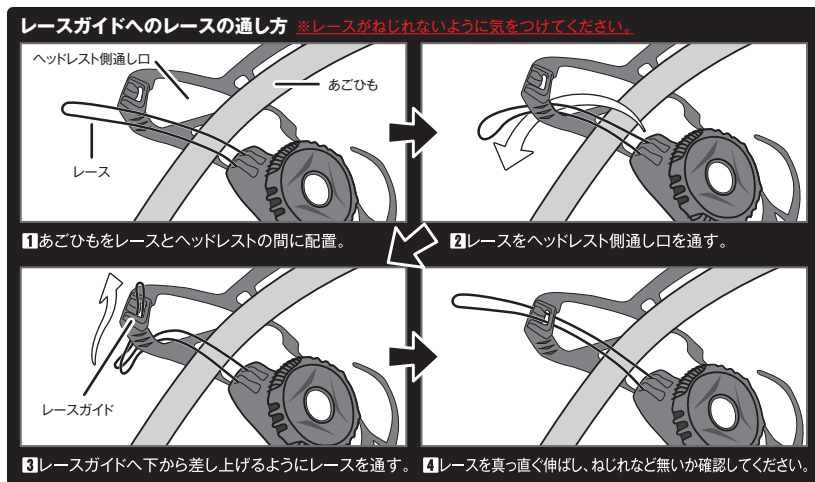


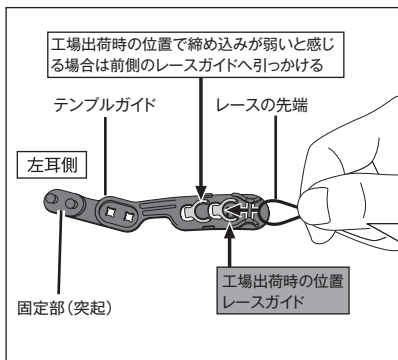
- ②左右のアームをそれぞれ同じ高さに揃え、穴に押し込みます。

[メインデックスへ戻る](#)

③下図のようにレースガイドヘレースを通します。

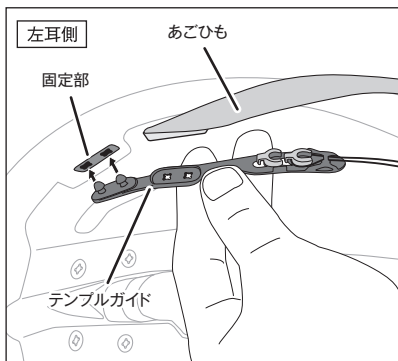
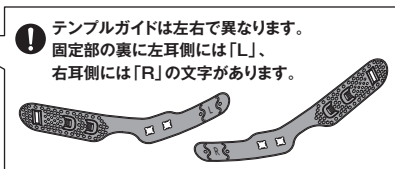
※イラストは左耳側のイラストです。逆側も同様に進めてください。





- ④レースの先端をテンブルガイドのレースガイドに引っかけます。

※レースがねじれないように気をつけてください。



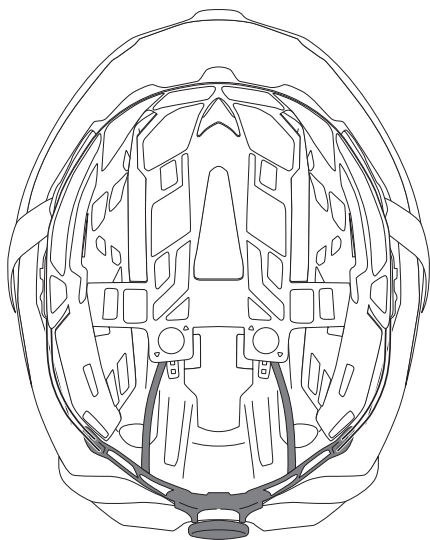
- ⑤レースをテンブルガイドに引っかけたまま、図のようにヘルメットの固定部へ取り付けます。この作業を左右ともに行います。

最後にAERO-R2 Mips LFLインナーパッドとAERO-R2 Mips ブリッジを取り付けします。該当パーツの取り付け方法はP26をご確認ください。

AERO-R2 Mips 脱着方法

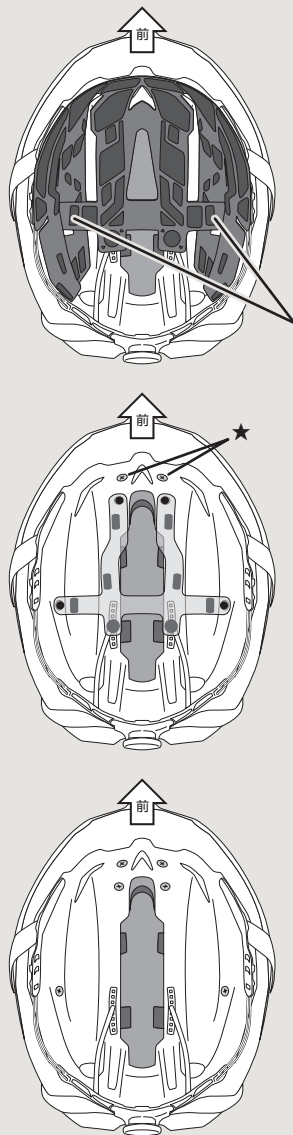
Mips

メインデックスへ戻る



AERO-R2 Mipsシステム 脱着方法

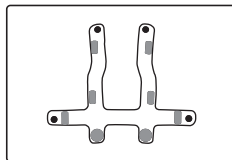
Mips



AERO-R2 Mipsシステムパーツ類



AERO-R2 Mips LFLインナーパッド



AERO-R2 Mips ブリッジ

取り外し方

本体からLFLインナーパッドとMips ブリッジを優しく取り外します。多数の面ファスナーとスナップで接続されています。

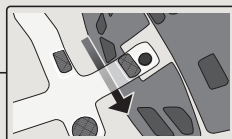
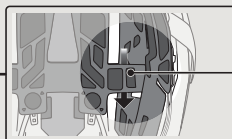
取り外す際は、ゆっくり取り外してください。ねじったり無理に引っ張ったりすると面ファスナーが剥がれたり、接続部の破損などの原因となります。

取り付け方

1.ヘルメット本体にMips ブリッジを対応箇所に取り付けます。4箇所スナップで接続されています。

★の箇所は使用しません。

2.Mips ブリッジとヘルメット本体の対応する接続部にLFLインナーパッドの向きを合わせて押し付けます。多数の面ファスナーで固定されています。



上図のように、一部LFLインナーパッドをMips ブリッジの下を通すように設計されています。(左右共に)

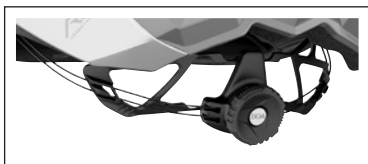
AERO-R2 Mips LFLインナーパッドはぬるま湯を使って丁寧に手洗いし、室温で自然乾燥させてください。



警告! AERO-R2 Mips LFLインナーパッドとAERO-R2 Mipsブリッジは、対象となるヘルメットおよびサイズでのみ使用することを前提に設計および検査されています。他のヘルメットモデルまたはサイズとの互換性はありません。正しく取り付けなかった、または適合しないヘルメットやサイズに取り付けた場合、正常に機能しないことがあります。LFLインナーパッドおよびMipsブリッジが損傷したり、ずれたりしている場合は、使用しないでください。

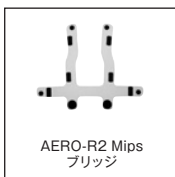
■ 補修用パーツ/オプションパーツについて

(別売・補修用)「KBF-2アジャスター」について



KBF-2アジャスターは、補修用としてもご用意しております。

(別売・補修用)インナーパッド各種について



インナーパッドは消耗品です!

常日ごろより使用されているヘルメット内部のインナーパッドは消耗品です。傷んだインナーパッドをそのまま使い続けると破れてしまい、フィット感などに悪影響をおよぼしかねません。古くなったインナーパッドは、早期に交換されることをお勧めします。

(別売・補修用)「アジャストロックセット-07」について



このアジャストロックは工場出荷時に本体に装着されているアジャストロックとは異なり、交換専用のパーツになります。

〔別売・補修用〕「エアバスプレート」について



エアバスプレートは、補修用としてもご用意しております。

〔別売・補修用〕「ノンスリップラバー-02」について



ノンスリップラバー-02は、補修用としてもご用意しております。

〔別売・補修用/オプション〕シールドについて



シールドは消耗品です。傷の付いたシールドは視界を妨げる原因となり大変危険ですので速やかに新しいシールドに交換してください。



重要です!!

Kabutoでは、ヘルメットを快適にご使用いただくために、各種パーツをご用意しております。

ご購入の際は、お使いのヘルメットに適合した補修パーツをお選びください。

別売・補修用パーツ/オプションパーツ各種については、当製品掲載のカタログもしくはホームページをご覧ください。



Kabuto

検索

❗ ご注意

パーツをお買い求めの際は、お使いのヘルメットのモデルをよくご確認のうえ、販売店などへご注文ください。

■ 当製品の使用素材について

[メインデックスへ戻る](#)

MOFF®

あごひもに
使用しています。

MOFF®はアシックス商事
株式会社の登録商標です。

消臭素材「MOFF®」について

「MOFF®」は、従来とは全く異なる新しい消臭方法（ナノテク技術）により、悪臭の元を中和、無臭化します。その効果は活性炭と比べ、「悪臭の吸着速度は10倍※」・「吸着度は50倍※」に達します。

MOFF®の特長

- ・吸着だけでなく、中和するので効果が持続します。
- ・アルカリ性の臭いに対応できます。
- ・低分子である悪臭を活性炭の10倍以上※の速度で中和します。
- ・活性炭の50倍以上※の量の悪臭を中和します。
- ・高分子である良い香りは取りません。
- ・悪臭の原因となる雑菌の繁殖を防ぎます。

※アシックス商事株式会社・実施試験による数値

❗「MOFF®素材あごひも」のお手入れについて

- 汗などで汚れた場合のお手入れは、水もしくはぬるま湯（35℃以下）のみで軽くすすいで汚れを落とし、しっかり水気を拭き取ってから陰干しするとMOFF®本来の効果が持続できます。
- 洗剤を使用する場合は、中性の洗たく用洗剤を使用してください。
（アルカリ性洗剤はMOFF®の効果が減少しますので使用しないでください）

撥水機能

当製品は、撥水機能をプラスしたあごひもを使用しています。

あごひもに撥水機能をプラスし、汗による重量増加を抑えて爽やかな肌触りをキープし、不快感を低減します。

❗撥水性能を長く保つためのお手入れについて

- 撥水あごひもの撥水性能は、長期使用により低下します。撥水性能が弱まってきた場合、水もしくはぬるま湯で汚れを落として陰干しを行い、ドライ・低温設定の家庭用アイロンで加熱する事で撥水性能が回復します。
- 加熱の際アイロンがヘルメット本体に接触しないようご注意ください。
- ヘアドライヤーでの加熱は、シェルやライナーに悪影響を及ぼす恐れがありますので、絶対におやめください。

COOLMAX®

「COOLMAX®」および
「クールマックス®」はインビ
スタ社の登録商標です。

高機能素材「クールマックス®」について

当製品は、内装生地に汗を素早く蒸散し、

いつもサラッと快適な「クールマックス®」を使用しています。

- ・体から発汗すると、「クールマックス®」は水分を外へ排出し、
空気が外部から入り込んで、冷却・乾燥させる効果があり、
体表温度を下げ、優れた水分調整機能を発揮します。
- ・「クールマックス®」は自然な風合いを持ち、ソフトで軽量、
通気性にも優れています。

各インナーパッドのお手入れについて

汗などで汚れた各インナーパッドは、取り外して洗うことができますので、定期的にお手入れをすることで清潔に保てます。洗う場合は、水もしくはぬるま湯（35℃以下）にごく少量の洗髪用シャンプーもしくは家庭用中性洗剤を入れ、やさしく押し洗いをおこなってからよくすすいでください。

洗い終わったら乾いた布などで水気をやさしく取り除き、直射日光の当たらない風通しのよい場所で陰干しをおこなってください。